

令和4年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	17 東京都台東区立特別養護老人ホーム千束	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 [規模] 延べ床面積 6,733.87㎡のうち1,763.54㎡ RC造 地上7階地下2階のうち3、4階の部分駐車場（共用）、居室、浴室（機械浴、一般）、静養室、医務室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助（食事、介護（排泄・入浴援助））、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等 [自主事業] なし
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 29名 (内 訳) 施設長（特別養護老人ホーム三ノ輪と兼務）、医師（嘱託）、栄養士（兼務）、生活相談員（常勤2）、介護職員（常勤18、短時間1.8、臨時1.4）、看護師（常勤4、臨時1.2）、間接業務（臨時0.4）、機能訓練指導員（臨時0.3） (前年増減) 介護職員（常勤+2、短時間+0.8、臨時-1.6）、看護師（常勤+1、臨時+1.2）、間接業務（臨時+0.4）、機能訓練指導員（臨時-1.7）

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	66,050,870	66,050,870	97,727,320	97,727,320
	利用料金収入	133,285,130	128,894,693	132,425,680	130,864,657
	その他収入（補助金事業収入等）	10,403,000	6,785,326	0	507,915
	計	209,739,000	201,730,889	230,153,000	229,099,892
支出	人件費	148,146,000	142,699,703	169,783,000	163,782,958
	光熱水費	6,938,000	5,234,313	5,799,000	4,927,040
	維持管理費（委託料・賃借料）	25,976,000	25,525,479	24,817,000	24,277,384
	修繕費	1,500,000	502,358	1,450,000	1,402,874
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費等）	27,179,000	30,625,626	28,304,000	21,519,646
	計	209,739,000	204,587,479	230,153,000	215,909,902
収支			-2,856,590		13,189,990

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
入所定員（ショートステイ含む）	人	31	31	31	31

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用率（特養+ショート）	%	93.3	95.9	94.3	93.3
利用者数（特養+ショート）	人	10,558	10,885	10,665	10,558

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況

新型コロナウイルス感染症の影響によるショートステイの利用率低下については改善しているものの、入所者の入院等により令和2年度と比較して特養の利用率が低下しているため、引き続き改善に向けた取り組みが求められる。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令、通達等に基づいた施設運営を行っている。災害・事故対応マニュアルを整備し、職員へ研修を実施するとともに、定期的な避難訓練・防災訓練を行っている。また、検温や消毒等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底している。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	基準以上の人員を配置し、計画的に職員の研修を実施する等、適切なサービスの提供に努めている。入所者の入院が多くやや利用率は下がったものの、概ね良好である。引き続き利用率向上のための取り組みが望まれる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備について定期的に状態を確認し、危険箇所の把握と迅速な対応に努めている。また、日常の清掃業務に加え、消毒を実施するとともに、感染症対策委員会を毎月開催するなど、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいる。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	サービス利用者・家族を対象とした利用者満足度調査においては令和2年度に引き続き良好な結果であり、適切なサービス提供が行えている。新型コロナウイルス感染防止対策により制限されている面会についても、工夫して要望に対応している。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用料収入は目標を達成していないものの、給食費等の支出を削減することで、収支目標を達成している。また、物品購入については建物内でまとめて発注するなど、管理費の効率化に取り組んでいる。

(6) 優れた取り組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
—	点

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (99 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>入所者の入院等により利用率はやや目標を下回ったものの、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら施設運営に取り組んでおり、概ね良好といえる。面会等制限を受けているが、サービス向上のため、工夫して実施している。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>ショートステイの利用率は改善したものの、特養の利用率が低下している。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、新規入所をスムーズに進められるよう取り組み、利用率向上に努める必要がある。</p>